

2015年8月18日
イオン株式会社
イオンモール株式会社

中国・天津市「濱海新区」爆発事故における当社の現状と対応について

8月12日（水）深夜、中華人民共和国（以下、中国）天津市「濱海新区」で発生した爆発事故は、中国国営メディアによると100名以上の犠牲者ならびに多数の行方不明者を出す大惨事となりました。この度の事故でお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げるとともに、被害にあわれた方々へ心よりお見舞いを申し上げます。また、当社に対し各方面から多くのご心配の声をお寄せいただいたことにつきまして、厚く御礼申し上げます。

この爆発事故により、現場から約2kmの場所に位置する「イオンモール天津TEDA」（以下、同モール）は、窓ガラスの破損やモール外壁の一部損傷、店内の一部区域における天井板の脱落等があり、現在被害状況のより詳しい調査を行っている所です。幸い、事故が営業時間終了後であったため、お客さまに被害はありませんでした。

天津市内では、被害を受けた同モールの他に「イオンモール天津中北」「イオンモール天津梅江」の2店舗を展開していますが、いずれも事故現場から数十キロ離れており、当該事故の影響を受けることなく通常通り営業しています。

当社は、地域の暮らしを支える小売業としての使命を果たすため、お客さまや従業員の安全性に万全を期しつつ、同モールを所有するオーナーとも協議の上、食品等の生活必需品を優先に営業再開に向けた準備を進めていきます。営業再開準備については、天津の2店舗や中国本社、在中国グループ企業からの応援者も合わせ、従業員一丸となってまいります。

また、当社では、事故発生の一報を受けた直後、緊急物資として飲料水や乾麺、スナックなどをお届けしました。加えて、当局から許可を受けて一時帰宅した近隣住民の方々の乗用車の待機場所として同モールの平面駐車場の一部をご提供しています。今後も当社はグループ力を結集し、行政と連携を図りながら地域社会の復旧・復興に向けて尽力してまいります。

なお、当社は中国全体でGMS、SMあわせて63店舗を展開しており、当該物件が第三者所有のマスターリース物件であること、損害保険も適用される見込みであることなどから、当社の中国事業や連結業績に与える影響は極めて軽微となる見通しです。

今後、営業再開日等が決まりましたら、随時皆さまにお知らせしてまいります。

【この件に関するお問い合わせ先】

イオンモール(株) 広報部 TEL：043-212-6733